

平成27年度
事業計画書



平成27年度事業計画書

～ 目 次 ～

○平成27年度基本方針 … P. 2

○平成27年度事業概要

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】芸術文化鑑賞事業の開催

- 1. ベガ・ホール事業 … P. 3
- 2. ソリオホール事業 … P. 6
- 3. 宝塚文化創造館事業 … P. 8

【2】地域の芸術文化活動の育成等

- 1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業 … P. 10
- 2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業 … P. 11

【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供 … P. 14

【4】その他の事業 … P. 14

II. 芸術文化施設の管理運営

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業 … P. 16

【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

【3】宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）管理運営事業

III. その他の事業

【1】文化財団「友の会」 … P. 17

【2】その他

平成27年度基本方針

当財団では、平成22年度を初年度とする5カ年の中期振興ビジョンを策定し、人づくり、機会づくり、場づくりを基本として種々の施策を推進してきた。期間中においては、公益法人への移行、ソリオホール、ベガ・ホール、文化創造館の指定管理者選定、更には、地域の芸術文化活動を支える組織の基盤づくりとして学校、病院、福祉施設等へのアウトリーチ活動等、地域に根ざした事業にも積極的に取り組んできた。

他方で、平成25年度に「宝塚市民の文化芸術に関する条例」が施行され、本年3月には文化芸術振興基本計画が策定される等、宝塚市における文化芸術振興施策の展開が具現化されようとしている。このような環境変化に的確に対応すべく、中期振興ビジョンの最終年度である平成26年度において、その取り組みを評価、検証するとともに、第2次中期振興ビジョン策定に向けた作業に着手しており、引き続きその取り組みを進めていく。

なお、今年度の重点方針については、前年度の方針を継続しつつ、さらに取り組み内容を充実させていく。

○平成27年度事業重点方針

- (1) 幅広い世代の場づくりと市民との協働
- (2) 3館の特徴をいかした活用と街のにぎわいづくり
- (3) 想いを伝える情報力の強化



○具体的な取り組み内容

●アウトリーチ事業の拡大

これまでに地域のアーティストの協力を得て、学校、病院、福祉施設などへ様々なアウトリーチ事業を行ってきた。今年度はさらに、開催回数や場所を拡大し、また、ジャンルもクラシックからジャズ、落語、演劇等に広げ、より多くの方々に文化の感動を伝えていく。

●未就学児を含めた子どもや子育て世代へのアプローチ

今年度は、子育て世代の取り組みとして「0歳からのクラシックコンサート」や夏休みに子どもや保護者で楽しめるワークショップ型コンサート「ベガでマイベスト！」などを新たに開催。あらゆる層が文化芸術と触れることのできる機会を創出する。

また、こども落語教室やベガ ジュニア アンサンブル、劇団BIGMOUSEなど文化を次世代へつなぐ事業も継続していく。

●宝塚市文化団体連絡会の活動

交流の機会が少ない宝塚市内の文化団体による連絡会を平成22年度から立ち上げ、団体同士の情報交換、つながりを強めている。また、加盟団体が協力して子どもを対象とした芸術文化の体験事業「たからんまつり」を開催するなど、異ジャンル交流や地域文化の活性化を図っていく。



●情報力の強化

財団の取り組みや文化情報を知っていただくため、市内104,000世帯に各戸配布する財団イベントラインナップの配布回数を年2回に増やすなどPRの強化を図る。また、引き続きお客様とスタッフの顔の見える関係を強化するとともに IT を活用した広報戦略を展開していく。

○平成27年度事業概要（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】 芸術文化鑑賞事業の開催

音楽専用ホールのベガ・ホール、多目的ホールであるソリオホール、宝塚音楽学校旧校舎であり、“すみれミュージアム”をそなえた宝塚文化創造館の3拠点を中心に、それぞれの施設の特色を生かした事業を実施していく。事業を実施するにあたり、文化ボランティアの活用や市民の企画参加などの「人づくり」、子育て世代を含めた観客層の拡充など「機会づくり」を進めるほか、芸術文化を楽しむ雰囲気づくりを意識した「場づくり」を行っていく。

1. ベガ・ホール事業

音楽専用ホールのベガ・ホールで開催する事業は、全国発信し高い評価を得ている「宝塚ベガ音楽コンクール」「宝塚国際室内合唱コンクール」の2つのコンクールと、質の高いコンサート、パイプオルガンを活用した取り組みを中心に計画していく。

(1)「第27回宝塚ベガ音楽コンクール(ピアノ部門)」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)全国各地の若い有能な演奏家の発掘と、「音楽のあるまち“宝塚”」にふさわしい音楽文化の発展向上を目指して開催。市民参加の会場審査員や遠方からの出場者の練習場所として、ピアノを所有している一般家庭を募るなど、市民の協力を得て実施する。

(時期)予選 6/6(土)・7(日) 本選 6/27(土)

(入場料)予選 無料 本選 1,000円(当日1,500円)

(コンクール参加料)30,000円

(見込入場者数)予選 のべ360人/本選 100人 (見込参加者数)85人



○「宝塚ベガ音楽コンクール 1位入賞記念演奏会 ベガ・ウィナーズコンサート」(関連企画)

(概要)6月に開催する第27回宝塚ベガ音楽コンクールの、ピアノ部門の第1位入賞者による記念コンサート。

1位入賞者を市民に広く紹介し、若い演奏家の今後の演奏活動のステップとなるコンサートとして計画する。

出演:宝塚ベガ音楽コンクール1位入賞者

(時期)下半期 (入場料)1,000円(当日1,500円) (見込入場者数)300人

新規

○「宝塚ベガ音楽コンクール入賞者の情報収集ならびに活用事業」(関連企画)

(概要)コンクール入賞者の演奏活動を支援するため、情報収集し紹介する。また、入賞者によるコンサートを年2回実施し、コンクールの取り組みと入賞者の活動をPRする。

(時期)通年 ○コンサート開催時期 未定 (見込入場者数)各回100名

(2)「第31回宝塚国際室内合唱コンクール・特別演奏会」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)合唱の原点といえる“少人数による室内合唱”の普及、また、音楽を通じた国際交流の推進に資する目的で、昭和59年から開催している国際的にレベルの高いコンクール。今回はルネサンス・バロック部門、近現代部門、フォークロア部門、シアターピース部門の4部門を実施。海外からは韓国、フィリピン、インドネシア、マレーシアより出場が予定されており、コンクールの翌日には海外団体及び上位入賞団体が出演する特別演奏会を開催する。また、TICC ウィークと銘打ち市内各所でのミニコンサートを計画する。

(時期)コンクール 7/25(土) 特別演奏会 7/26(日)
(入場料)各日2,500円(当日3,000円) セット券4,500円
(参加料)予備審査2,000円、コンクール参加20,000円
(見込入場者数)のべ850人 (見込参加者数)680人



○「TICCウィーク」(関連企画)

「TICC街かどコンサート」

(時期)7/21(火)・23(木) (会場)市内各所

「TICC 前夜祭」

(時期)7/24(金) (会場)G・コレクション阪急宝塚前広場

(出演者)宝塚市内の合唱団とTICCに出場する団体。

○「発声講習会」(関連企画)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールの浸透と、市内で活動する合唱団のレベルアップのために、わかりやすく実践的なテーマの講習会を実施する。

(日時)5/11(月)14:00 (入場料)500円(当日700円) (見込入場者数)190人

○「コーラスマスタークラス」(関連事業)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールへの出場を目標に、コンクールの各審査部門の理解を深めるために実施する。共催:日本合唱指揮者協会関西支部 (日時)7/23(木)19:00

(3)コンサート事業

新規

①「ベガでマイベスト！～とっておきのシートをさがそう～」

(概要)夏休みに親子を対象としたワークショップ型コンサートを開催。市民のホールへの興味や関心を高め、また、ホールの音や響きを体感するため、様々な位置の座席に座って音を聞き比べるワークショップを実施。そこで見つけたマイベストシートでコンサートを鑑賞する。

(時期)8/21(金)

(入場料)コンサート 一般1,000円(当日1,200円)、学生券500円(当日700円)

ワークショップ+コンサート 一般1,500円、学生券700円、親子券2,000円

(見込入場者数)コンサートのみ250人、ワークショップから参加100人

(出演)田村緑(ピアノ)



②「宮川彬良とアンサンブル・ベガ ポップス&クラシックス Vol. 21」

(概要)作曲家・舞台音楽家である宮川彬良さんの編曲・司会により、クラシックファンだけでなくポップスファンにもアピールする魅力的なプログラムが好評のベガ・ホールのフラッグシップ・コンサートを開催する。また、若い世代の来場者を増やすため、新たに学生券を設定する。

助成:朝日新聞文化財団

(時期)9月予定

(入場料)一般 4,000円(当日4,500円)、

学生券2,000円(当日2,500円)

(見込入場者数)380人

(出演)宮川彬良(音楽監督、ピアノ)、辻井淳、日比浩一(ヴァイオリン)、馬渕昌子(ヴィオラ)、近藤浩志(チェロ)、新眞二(コントラバス)、鈴木豊人(クラリネット)、星野則雄(ファゴット)、池田重一(ホルン)



新規

③「～マタニティからおとうさん、おかあさんまで～ 0歳からのクラシックコンサート」

(概要) 未就学児が入場可能なコンサートを実施することにより、子どもを持つ世代にもクラシックコンサート来場機会を提供する。プログラムはすべてモーツァルトの曲で構成し、幅広い世代の方に楽しんでいただけるコンサートとする。

(日時) 10/17(土) 14:00 (見込入場者数) 215人

(入場料) 一般1,000円(当日1,200円)、3歳以上中学生以下500円(当日700円)

親子券1,200円(当日1,500円) ※3歳未満膝上無料

(出演) 鳥山浩詩(バリトン)、岩本実奈子(ソプラノ)、清水友唯(ヴァイオリン) ほか

④「ベガ・ホールオペラ『トスカ』」

(概要) 昨年度、財団設立20周年を記念し開催した「オペラ・ガラコンサート」に引き続き、オペラ公演を行うことでオペラ文化の普及を図る。出演者には地元演奏家及び宝塚ベガ音楽コンクール出身の若手声楽家などを起用する。アリアの宝庫として知られる名作「トスカ」から名場面を抜粋し、初心者でも分かりやすい解説付きで上演する。また、プレコンサートを実施し、理解を一層深めていただく。

(時期) 11/3(火・祝) (入場料) 2,500円(当日3,000円) (見込入場者数) 360人

(出演) 越野保宏(テノール) ほか (監修) 斉藤言子

○プレコンサート (時期) 未定 (入場料) 500円(当日同額) (見込入場者数) 100人

⑤「第36回ベガメサイア」

(概要) 公募により結成する合唱団「ベガメサイアを唱う会」が、バロック音楽の演奏に定評のあるテレマン室内オーケストラとの共演でヘンデルの「メサイア」を歌い上げる、ベガ・ホール冬の風物詩コンサート。

(日時) 12/6(日) 14:00 (入場料) 3,000円(当日3,300円) (見込入場者数) 380人

(出演) 中村健(指揮)、テレマン室内オーケストラ(演奏)、ベガメサイアを唱う会、宝塚少年少女合唱団(合唱) ほか

新規

⑥「Be in Voices コンサート」

(概要) 日本を代表する実力派アカペラコーラスグループによるコンサート。ベガ・ホールではあまり見られない演奏スタイルのグループを招き、新たな客層の開拓を狙う。また、アカペラクリニック(5回)を行い、参加者がコンサートと一緒に歌う関連企画も実施する。

(日時) 3/5(土) 14:00

(入場料) 2,500円(当日3,000円) (クリニック参加料) 5,000円 ※5回分

(見込入場者数) コンサート 300人、クリニック 20人



⑦その他 ベガ・ホールコンサート

(概要) 国内外のアーティストによる上質な公演を実施し、ベガ・ホールのイメージアップ、ラインナップの充実を図る。また単独主催の他、教育機関、芸術団体、プロモーターなどと協働し、共催、提携公演を行う。

○「県西音楽科現役高校生によるティーンズ・フレッシュ・コンサート」

4/7(火)、8/4(火)、8/24(月)、12/22(火)、2/5(金) 全5回開催

共催: 県立西宮高等学校音楽科



○「ブランミール・スローカー & 清水真弓トロンボーン・ジョイントリサイタル」

共催: 株式会社プロアルテムジケ

(日時)6/11(木)19:00 (入場料)一般4,500円、学生2,500円

(出演)ブランミール・スローカー、清水真弓(トロンボーン)、高橋博子(オルガン)

○「ベガにオーケストラがやってきた! Vol.6」 6/30(火) 共催:神戸女学院大学

○「酒井健治プロデュース公演#01 響き合う肖像—内的相互伝達の可能性を巡って」

共催:K's Blue Production、山陽トクイ連合

(日時)9/11(金)19:00 (入場料)一般2,000円(当日2,500円)、中高生以下1,000円

(出演)伊藤憲孝(ピアノ)、小林良子(ソプラノ)、後藤絢子(ヴァイオリン)、酒井健治、徳永崇(楽曲解説)

○「ミドル アーミー バンド チェンバーコンサート 2016」

協力:陸上自衛隊中部方面音楽隊

(時期)未定 (入場料)無料 ※要整理券 (出演)陸上自衛隊中部方面音楽隊によるアンサンブルメンバー

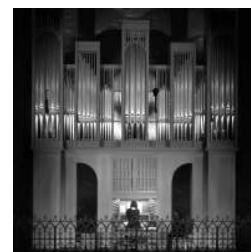
(4)オルガン事業 (宝塚市特別指定管理事業)

「市民のためのオルガンコンサート」

(概要)ベガ・ホールの象徴であるパイプオルガンを活用した事業。気軽にベガ・ホールに足を運んでいただき、オルガン音楽に触れる機会を提供する。6回開催。

(時期)4/11、6/13、8/8、10/10、12/12、2/13 土曜日開催

(入場料)500円 (見込入場者数)各回120人



(5)「いにしへのひびきにのせて チェンバロコンサート」

(概要)ベガ・ホールのロビーでの無料コンサート。出演者と距離の近いなごやかな雰囲気の中で、ホール所有のチェンバロの音色を気軽に楽しんでいただく。ホールを身近に感じることのできるコンサートを目指す。4回開催。

(時期)6/16、9/8、12/8、3/8 火曜日開催 (入場料)無料 (見込入場者数)各回90人

2. ソリオホール事業

ソリオホールで開催する事業は、日本の伝統芸能を中心とした「舞台公演」や、気軽に楽しめる映画会、心が踊るジャズライブなどを中心に計画している。「気軽」「わかりやすい」「はじめて」などをキーワードに「舞台芸術との最初の出会いの場所」をコンセプトに展開する。

(1)舞台公演

①「たからづか能」

(概要)日本の伝統芸能「能楽」を上演し、市民に古典芸能に親しむ機会を提供する。13回目の開催となる今年度は、兵庫県須磨の浦が舞台の能「忠度(ただのり)」を取り上げる。さらに、公演への理解を深めるため、公演前に参加型の講座と、能舞台での狂言体験を開催する。

助成:独立行政法人日本芸術文化振興会(予定)

(日時)5/10(日)14:00 (見込入場者数)275人

(入場料)一般[指定]3,500円(当日4,000円)、[自由]2,800円(当日3,300円)、
特別席1,500円(当日同額)

(演目)能「忠度」、狂言「無布施経(ふせないきょう)」ほか

(出演)梅猶会(梅若猶義ほか)、大蔵流狂言善竹会(善竹隆司ほか)



○講座『忠度』をめぐって考える能の見方（関連企画）

（日時）4/18(土)14:00（参加料）1,000円

（見込参加者数）70人

（講師）天野文雄（京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長）

○はじめての狂言体験（関連企画）

公演前日に、実際に能舞台で出演者による解説や狂言の体験を実施。

（日時）5/9(土)14:00（参加料）500円（見込参加者数）30人



②「宝塚ソリオ寄席」

（概要）ソリオホールの恒例イベントとして定着した米朝一門5名による上方落語の寄席。日本の話芸である落語を生で楽しめる機会を身近なホールで提供する。

（日時）2/26(金)18:30（入場料）2,500円(当日3,000円)（見込入場者数）300人

(2)「シネマ イン ソリオ」

（概要）気軽にソリオホールに足を運んでもらうきっかけづくりとして映画会を実施。第3木曜日を基本に、邦画と洋画を定例的に実施することにより、ソリオホールのラインナップの充実を図る。（6回開催のうち邦画を3回、洋画を3回上映する。）

（時期）4/16、6/18、7/16、10/8、12/17、2/18 木曜日開催

（入場料）一般800円(当日1,000円)、2回セット券1,200円(前売のみ)（見込入場者数）年間 3,000人

（上映予定）「武士の献立」(邦画)、「8月の家族たち」(洋画)、「超高速！参勤交代」(邦画) ほか

(3)「ライブ イン ソリオ！ JAZZ」

（概要）ライブハウス形式のレイアウトが可能なソリオホールの特徴を活かしたライブ事業。気軽にジャズを楽しむ機会を提供する。昼夜2回公演の実施。

（時期）9/26(土)①14:30 ②18:30

（入場料）1,500円(当日2,000円) ＊ワンドリンク付き

（見込入場者数）250人 出演：中島教秀(ベース) ほか



(4)その他の提携/共催公演

①「第9回宝塚パリ祭」

（概要）宝塚歌劇『モン・パリ』の初演が日本のシャンソンの始まりであることにちなんだ、宝塚ならではのシャンソンコンサート。共催：宝塚シャンソン化計画

（時期）7/11(土)・12(日)（入場料）2,500円(当日3,000円)（見込入場者数）各日270人

②「らくご組曲 西村由紀江×桂春蝶」

（概要）ピアニスト西村由紀江と落語家桂春蝶によるコラボレーションコンサート。2回公演。共催：アートフォレスト

（時期）11/23(月・祝)（入場料）一般4,000円(当日4,500円)、学生券2,000円(見込入場者数)各回250人

③「人形劇団クラルテ公演『森のちいくまちゃん』ほか3編」

（概要）関西を代表する人形劇団による宝塚公演。2本立て2回公演により、全4作品を上演。

（時期）2/20(土)（入場料・見込入場者数）未定

④「みんな元気になろうびっくり箱 part.6」

(概要) 3.11東日本チャリティ公演として関西のプロの舞台芸術創造団体と共に行う演劇祭。地域と共に子どもたちに演劇と出会う場をつくる。共催:全国児童・青少年演劇協議会関西ブロック、宝塚ふぁみりい劇場
(時期) 3/6(日) (入場料・入場見込数) 未定

3. 宝塚文化創造館事業

平成23年度から指定管理を受け運営を行っている宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)では、「歌劇の学び舎」として宝塚歌劇にまつわるイベントの他、新しい文化スポットとして地域と協働し、館前の公園を活用しつつ、ガーデンフィールズ跡地へのアプローチを考慮しながら、「文化の創造」にふさわしい企画を展開していく。

(1) 講堂ホールイベント

①「タカラヅカ・ノスタルジックコンサート」

(概要) すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団OGによる、宝塚歌劇のテーマ曲や懐かしの歌謡曲をトークとともにお届けするコンサート。

なお、新たな試みとして、3回開催のうち10月公演はソリオホールで開催し、より多くのお客様に鑑賞いただく。

(時期) 4月19日(日)、10/25(日) *ソリオホール公演、2/14(日)

(入場料) 3,500円(当日4,000円)

(見込入場者数) 各回160人 *10月ソリオ公演は270人

(構成・演出) 岡田敬二(演出家・文化創造館名誉館長、財団副理事長)



②「宝塚歌劇シンポジウム タカラヅカトーク&ライブ『ロマンチックレビューの世界』」

(概要) すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団の演出家及び作曲家、ならびに歌劇団のトップOGによるトークと、ミニコンサート上演。2回公演予定。

(時期) 7/12(日) (入場料) 3,000円(当日3,500円) (見込入場者数) 各160人

(出演) 岡田敬二、吉崎憲治(宝塚歌劇団作曲家)、紫苑ゆう(元宝塚歌劇トップスター) ほか

③「元気な長寿の仲間たち展 Vol.V」

(概要) 宝塚市展に出展した80歳以上を対象にした展覧会。敬老の日を含めた期間に開催する。

(時期) 9/17(木)~22日(火・祝) (入場料) 無料

(見込入場者数) 300人

(見込出展者数) 30名 (見込出品数) 50点



④「ハートフル避難訓練コンサート」

(概要) 地元自治会との合同避難訓練とコンサートを連動させ、地域の防災意識を高めるイベントを開催。

地元演奏団体によるコンサートと、消防署による防災知識のレクチャー及び、花のみち・さくら橋公園を使った避難訓練を実施する。

(時期) 10/4(日) 予定 (入場料) 無料 (見込入場者数) 150人



⑤「活弁映画へようこそ！」

(概要)阪東妻三郎や大河内傳次郎などの無声映画を、現役活弁士の井上陽一さんによる活弁と解説を交えて上映する。2回開催。

(時期)5/17(日)、11/21(土) (入場料)800円(当日1,000円) (見込入場者数)各80人

(上映作品)「血煙り高田の馬場」ほか

⑥ワークショップ事業

(概要)文化創造館の講堂・バレエ教室・日舞教室を利用した舞台芸術ワークショップを実施する。舞台上のプレイヤーのノウハウ(ダンス・舞台メイク等)からバックステージのノウハウ(大道具・音響・照明等)まで、幅広く舞台芸術に触れてもらう機会を提供する。

(時期)通年 (参加料)300～2,000円 (見込参加者数)170人



新規

⑦「たからづかあおぞらげきじょう・あおぞらワークショップ」

(概要)文化創造館前の花のみち・さくら橋公園を活用し、劇場・ホールに足を運ぶ機会の少ないファミリー向けに音楽・演劇・美術などのライブパフォーマンスを体験する機会を提供する。あわせて、文化財団事業の告知を行い、ホール等へ足を運ぶきっかけづくりを行う。4回開催。

(時期)未定 (入場料)無料 (見込入場者数)各回30人

新規

⑧「みんなでイベント体験！イベントを創ろう」

(概要)文化創造館で開催されているワークショップ及び長寿展を中心に、協働で企画運営し市民がイベント作りを体験できる仕組みを作る。

(時期)未定 (参加料)無料 (見込参加者数)10人

(2) 2階展示室 すみれミュージアム 企画展

(概要)歌劇の学び舎「宝塚音楽学校」と宝塚歌劇のミュージアム。宝塚音楽学校での予科生・本科生の2年間の追った写真や、授業で使用された教材の展示、普段見られない実際の授業風景などを映像で紹介する。

また、舞台やテレビで活躍中の歌劇団OGの卒業写真を見ることができ、宝友会等のOG会との連携により、開館時にはなかった期の写真も集まるなど充実してきている。

企画展映像スペースでは120インチのスクリーンで歌劇に纏わる貴重な映像見ることができるほか、企画にあわせた品々を展示する。また季節毎にキャンペーンを展開する。また、ミュージアムグッズとして作成した薔薇タオルハンカチを引き続き販売し、ミュージアムのイメージと知名度アップに役立てる。

(開館)通年 10:00～16:30 水曜休館

(入場料)一般300円、中高生200円、小人100円

(見込入場者数)10,000人/年

(企画展)4月中旬～「街と宝塚歌劇」



拡充

〇3館共通券「宝塚花のみち夢みるパス」の販売

(時期)平成27年4月～28年3月

昨年度に実施した「宝塚歌劇の殿堂」、「手塚治虫記念館」、「すみれ♪ミュージアム」3館周遊キャンペーンの実施結果をふまえ、27年度からは3館に全て入館できる共通チケットを作成、1,000円で販売する。

(一般料金は殿堂が500円、記念館700円)。相乗効果を図り、宝塚花のみちを活性化させる取り組みとして実施する。

【2】地域の芸術文化活動の育成等

市民の日頃の文化活動の成果を披露できる「ハレの場」をより楽しいものになるよう演出・企画する。特に子ども達が芸術文化に参加できる機会を提供することを重点的に行う。文化芸術団体に対して、平成22年度発足した「宝塚市文化団体連絡会」への参加を促し、横断的な連携がとれる組織づくりを目指していく。

1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業

(1)「第49回宝塚市民合唱祭」

(概要) 市内で活動する合唱団に発表の場を提供するとともに、合唱を通じての市民交流を図るため開催。

出演合唱団の増加に伴い、2日に渡って開催。宝塚合唱連盟と共催。

(時期) 11/7(土)・8(日) (会場) ベガ・ホール

(入場料) 500円(当日同額) (見込入場者数)のべ1,300人

(2)「第31回宝塚伝統芸能フェスティバル」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 伝統芸能を愛好する市民が一堂に会して日頃の研鑽・練習の成果を発表、交流を図ると共に、伝統芸能の継承発展を図る。宝塚伝統芸能フェスティバル実行委員会と共催。

(時期) 5/24(日) (会場) ソリオホール (入場料) 無料

(見込入場者数)のべ1,500人

○「宝塚こどもいけばな教室」(関連企画)

(概要) 子ども達がいけばなを通じて、和文化に対する理解を深めることを目的として実施。伝統芸能フェスティバルに出品し成果を発表する。全10回実施予定。

(時期) 3/7～5/24 (会場) ソリオカルチャーほか (参加料) 15,000円(全10回・花材費込み)

(見込参加者数) 15人 (参加対象) 小学2年生～中学3年生

(講師) 宝田英甫(末生流総家 総会頭、宝塚いけばな協会会員)



(3)「第59回宝塚市展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 日頃から芸術を愛好し、創作活動に励んでいる人々の作品を公募し、活動の成果発表を通じて市民文化活動の奨励となることを目的に開催。

洋画・彫塑・写真・デザイン・書・工芸・日本画の計7部門で実施。

一般公募の作品のうち入賞・入選作品を展示する。

(時期) 作品受付: 1/15(金)・16(土)、審査: 17(日)

会期: 1/22(金)～26(火)

(会場) ソリオホール (出品料) 1部門1,500円 (見込出品者数) 550人

(入場料) 無料 (見込入場者数)のべ3,000人



(4)「第26回宝塚芸術展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 市民の芸術に対する関心を高め、その質的向上を図るため宝塚市文化連盟会員作家の作品を展示。宝塚市展と同じ7部門で開催。宝塚市展と同時開催することにより相乗効果を図る。

(時期) 1/22(金)～26(火) (会場) 国際・文化センター

(入場料) 無料 (見込入場者数)のべ900人



2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業

(1)「第7回宝塚学検定」

(概要)宝塚のまちの魅力を再発見し、故郷に対する理解や関心を深めてもらうことを目的として実施。関連企画として、前年度合格者の集いや試験対策セミナー、まち歩きを実施する。

発足3年目を迎えた「宝塚学博士の会」の自主的な活動をサポートしながら、協働によりまちや検定の魅力を発信する。

また、公式テキスト「宝塚まちかど学」に新たな情報を加えて改訂する。

(時期)検定:3/21(月・祝) (会場)ソリオホール

(受検料)一般3,000円、学生500円

(見込受検者数)220人

(合格基準)初・中級は70点以上、上級80点以上、博士85点以上(満点は100点)

合格者には認定証とピンバッジを進呈。小学生には50点以上「こども奨励賞」を授与。



○「合格者の集い」(関連企画)

(時期)4/25(土) (会場)宝塚文化創造館 (参加料)2,000円

(見込参加者数)50人

○試験対策セミナー(関連企画)

(時期)未定 2回実施予定 (会場)ソリオホール ほか (参加料)500円

(見込参加者数)各回70人

○宝塚まち歩き(関連企画)

実際に宝塚の地を歩き、理解を深めるとともに検定の得点アップや受検者増を目指す。

(時期)未定 3回実施予定 (場所)未定 (参加料)500円

(見込参加者数)各回50人



(2)宝塚市文化団体連絡会共同開催事業

(概要)宝塚市内の文化団体による連絡会。団体同士の情報交換、つながりを強め、市文化政策への提言力を強める。また、加盟団体が協力して子どもを対象とした芸術文化の体験事業を開催するなど、さらなる地域文化の活性化と交流を図る。(活動時期)通年

(加盟団体)12団体 ※平成27年2月末現在

宝塚合唱連盟、宝塚いけばな協会、宝塚演奏家連盟、宝塚書道協会、宝塚美術協会、宝塚市手工芸協会、宝塚茶道協会、宝塚三曲協会、宝塚デザイン協会、宝塚日本画協会、宝塚写真協会、宝塚市民謡民舞連合会

○共同開催事業「第4回わくわく!そうぞう!たからんまつり」

子どもたちが楽しく芸術に触れられるワークショップやコンサート、デモンストレーションを、加盟団体の会員が講師・出演者となって開催。合唱や書道など異なったジャンルのコラボレーション事業も行う。

(時期)3月予定 (会場)宝塚文化創造館、花のみち・さくら橋公園

(参加料)無料~500円 (見込参加者数)170人

(見込来場者数)1,000人



(3)宝塚アーティストバンク

(概要)宝塚市内や近隣地域において様々な分野で活躍するアーティストを市民に広く紹介するため、アーティストの情報を集める。その人材を活かし、市民が身近に公演活動や技術活動に出会う機会を提供する。また、文化施設の外でも市民や子どもが気軽に芸術文化に触れる機会を作っていく。

○「街かどコンサート」

「音楽のあるまち“宝塚”」を推し進める事業の一環として、市内の音楽関係者の協力により、G・コレクション阪急宝塚前広場などで無料のコンサートを開催。5回開催予定。

(見込来場者数)各回250人

拡充

○「学校コンサート」

市内の小学校を対象に、身近な音楽室や体育館でアンサンブル等の生の演奏を聴いたり、楽器を触ったりする企画を提供する。昨年度には山手台小学校を始めとした8校で開催したが、今年度は開催校を10校まで拡大する。学校との連携をさらに強化して実施希望校を募り、未来の宝塚の音楽文化をになう子どもたちに音楽の楽しさや演奏の喜びが体感できる機会をつくる。さらに、プロの演奏家であるアンサンブル・ベガの出演者による、中学校への出張ワークショップも行う。

(時期)未定 (見込実施学校数) 10校 (見込み参加者数)各回150人

○「福祉施設等コンサート」

市内保健医療福祉施設を対象にした出張コンサートを開催する。

(時期)未定 (見込実施施設数) 3施設 (見込参加者数)各回80人



(4)「宝塚こども落語教室(宝塚コドモラクゴる)&落語公演」

(概要)落語をきっかけに和文化に対する理解を深めることを目的として実施。今回で9年目。最終回にはソリオホールで舞台発表を実施。発表会同日に講師を中心とした落語会も実施。

(時期)7月～8月 全7回

(会場)ソリオカルチャー及びソリオホール(発表会)

(参加対象)小学3年生～小学6年生

(参加料)10,000円(発表会含む 全7回分) (見込参加者数)6人

(講師)林家染左、笑福亭智之介 ほか

◇発表会「宝塚コドモラクゴる」

(時期)8/22(土) (入場料)無料 (見込入場者数)のべ140人



○落語公演「ソリオ夏の落語会」～落語っておもしろい！9～(関連企画)

(時期)8/22(土)

(入場料)一般1,500円(当日2,000円)、高校生以下800円(当日1,000円)

(見込入場者数)140人

(出演)林家染左、笑福亭智之介 ほか

○宝塚こども落語くらぶ (関連事業)

宝塚こども落語教室の卒業生を対象とした団体。年2回の発表会を中心に活動。

(練習日)第2土曜日 (会場)ソリオカルチャーほか

(5)「ベガ ジュニア アンサンブル」

(概要)子どもたちに演奏する楽しさや、合奏による協調性を育む目的で創設した弦楽アンサンブル。平成28年3月に9回目となる演奏会を予定。

(時期)通年 (会場)ベガ・ホール ほか

(参加料)6,000円/月 (見込参加者数)16人



(6)「劇団BIGMOUSE」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)市民に演劇活動を通して、表現する楽しさや達成感を知ってもらうとともに、世代を越えて1つの舞台を作り上げることを目的として8月に公演を開催する。また、地域貢献として病院、老人ホーム等へのアウトリーチを行うなど、新たな取り組みを進める。

(時期)通年 稽古月2回日曜日 (会場)ソリオカルチャー ほか

(参加料)高校生以下500円/月、大学生以上1,500円/月 (見込参加者数)18人

○劇団BIGMOUSE公演「アヴェ・マリアのヴァイオリン」

(時期)8/30(日) 2回公演 (会場)ソリオホール

(入場料)1,500円(当日2,000円) (見込入場者数)各回250人

○アウトリーチ活動

(概要)日頃の稽古の成果を活かし、病院、老人ホーム等で詩の朗読や昔懐かしい歌を披露し、地域に根ざした活動を行う。

(時期)未定 (場所)病院、老人ホーム (回数)3回予定



(7)「ツキイチにつぼん玉手箱」

(概要)ソリオカルチャーの和室(301号室)を利用し、月1回、日本文化を鑑賞または体験する企画。奇数月はいけばなや書道、茶道などの日本の文化体験、偶数月は落語鑑賞を開催。

(時期)文化体験:5/23、7/18、9/5、11/14、1/16、3/5

落語鑑賞:4/25、6/20、8/29、10/17、12/5、2/20 土曜日開催

(会場)ソリオカルチャー

(参加料)文化体験:各回1,000円 6回セット申込み5,000円

落語鑑賞:無料

(文化体験内容)茶道、和菓子作り、日本語朗読、書道、日本画、いけばな

(見込参加者数)文化体験:各回16人 落語鑑賞:30人



【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供

①宝塚地域の文化情報ポータルサイトの構築

地域文化情報を収集・整理し、広く提供する。

※「ウェブサイト」の概要

サイト名:宝塚クリップ(宝塚イベント情報) URL:<http://t-clip.info/>

サイト名:宝塚市文化財団 URL:<http://takarazuka-c.jp/>



②文化財団 NEWS ! (ブログ)の実施

財団ホームページにてイベントの開催情報、最新情報を随時アップする。

③メールマガジンの定期的送信

財団事業に関する情報を、より多くの市民に提供していくため月1回の配信を実施。オンライン会員、事業に来場された方のうちメール配信に同意された方、職員が名刺交換した方に送信。チケット発売情報と近々開催するイベントを案内する。

④地域文化情報誌「ウイズたからづか」への掲載

・財団事業を中心とする各種文化行事に関する情報を、より多くの市民に提供していくため、情報誌「ウイズたからづか」(毎月15日・25,000部発行)誌面への掲載を行う。

・イベントの出演者、関係者にスポットを当てたインタビューコーナー「宝塚トーククリップ」を掲載



拡充 ⑤イベントラインナップの市内各戸配布

財団の取り組みや自主事業に関する年間情報、文化施設の情報を市民に提供するため、「宝塚市文化財団イベントラインナップ」を作成。(A4・8ページ・十文字折)

市内の全戸(104,000世帯)に配布する。今年度は3月末と、新たに9月末に配布し、下半期の取り組みについての情報を発信し、事業PRに努める。また、自主事業の来場者にも配布する。

(作成部数)120,000部/各回



【4】その他の事業

(1)文化体験事業「たからづかカルチャー“プラス”」

(概要)「宝塚で豊かに暮らす・楽しむ」ことをキーワードに、体験型の講座を多く実施することで新たな客層を呼び込み、宝塚駅前のソリオの活性化をはかる。

(時期)通年

(会場)ソリオカルチャーほか(受講料)講座毎に決定

(講座数)半期各11講座程度

(見込受講者数)半期150人

(講座内容)ヴァイオリン、韓国語、太極拳、ノルディックウォーキングほか



(2)文化団体の育成支援（宝塚市特別指定管理事業）

(概要) 音楽及び舞台芸術の普及・振興と当該分野の裾野拡大を目的として、次の3団体の育成を図る。

それぞれ定期演奏会、ファミリーコンサートなどを実施する。

- ①宝塚市交響楽団（練習日）土曜日（場所）ベガ・ホール
- ②宝塚市吹奏楽団（練習日）土曜日（場所）東公民館
- ③宝塚少年少女合唱団（練習日）日曜日（場所）良元小学校



(3)市民、文化団体との協働事業

①「第49回合唱交歓会」

(概要) 宝塚合唱連盟加盟団体が日頃の練習の成果を発表すると共に、合唱を通じた市民交流を目的として開催。

共催:宝塚合唱連盟

(時期)7/19(日) (会場)ベガ・ホール (入場料)無料

②「第14回宝塚ベガ学生ピアノコンクール」

(概要) ベガ音楽コンクールの年齢要件から外れている小学生や中学生の部門も備えたピアノコンクール。宝塚演奏家連盟の結成20周年事業として平成14年に創設以後毎年実施され、今年度14回目。部門ごとに1位～3位を選出し、表彰状と賞品を贈呈する。共催:宝塚演奏家連盟

(時期)予選 8/17(月)・18(火) 本選 10/4(日) (会場)ベガ・ホール (入場料)無料

③「宝塚いけばな展」

(概要) 宝塚いけばな協会の会員による展覧会。わが国を代表する伝統文化の一つであるいけばなの普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。共催:宝塚いけばな協会

(時期)2/6(土)・7(日)

(会場)ソリオホール (入場料)無料



④「第19回宝塚市手工芸展」

(概要) 宝塚市手工芸協会による公募展。手工芸の普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。共催:宝塚市手工芸協会

(時期)1/30(土)～2/2(火)

(会場)ソリオホール (入場料)無料



⑤「第16回宝塚映画祭」

(概要) かつて映画撮影所があった宝塚の映画文化の再生と創造を目指して開催。

市民の映画愛好者等で組織する宝塚映画祭実行委員会と共催。(時期・会場)未定

II. 芸術文化施設の管理運営

下記施設の指定管理者として管理運営事業を実施する。
(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

ベガ・ホール及びソリオホールは開館より長い時間が経っており、施設の老朽化対応やバリアフリー対応が必要となっている。設置者である市と協議しながら、市民の文化資産である両ホールを安全かつ快適な施設として維持管理していく。宝塚文化創造館においては、宝塚音楽学校旧校舎であった事跡的価値や設置目的に添った運営を行っていく。また、これら3施設の連携と特徴にあわせた活用を進めるとともに、施設の利用者アンケートを随時行い市民のニーズに添った運営を行う。

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業

昭和55年8月開館の音楽専用ホール(座席数372)。舞台正面のパイプオルガン、スタインウェイやベーゼンドルファーなど4台のグランドピアノを備えており、音響の素晴らしさには定評がある。市民による演奏会や、市や財団による主催事業が数多く行なわれ、宝塚の音楽文化の振興・向上の拠点である。



○マイレスタイムの活用

平成21年度に運用を開始したマイレスタイム。ホールの響きを体感していただくため、ホールの空き時間を利用し、1時間単位で練習利用を行うことができる。学生料金を設定し、若手演奏家への支援と将来の貸館利用促進を目的として実施していく。

【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

平成5年4月開館。昇降可能な舞台・客席を備えた多目的ホール(座席数約300)と、和室、レッスンルームなど様々な用途の会議室を7つ備える。宝塚駅から近く利便性が高いことから、演劇や音楽演奏会をはじめ、定期的なカルチャー教室など様々な目的に利用されている。



【3】宝塚市立宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)管理運営事業

昭和10年の建築以来平成10年まで63年の間、宝塚音楽学校として使われてきた建物を保存し、宝塚歌劇に代表されるような舞台芸術を中心とした文化活動の振興・集客に活用するため、宝塚市が設置。1階に講堂ホール(約180席設置可能)、2階に宝塚音楽学校と宝塚歌劇の常設展示室、3階にレッスンルーム(バレエ教室・日舞教室)を2部屋備える。

市民の声を反映し、創造館に相応しい事業を実施するための「事業企画運営委員会」を設置。また、宝塚市内での舞台芸術活動に要する稽古場を提供する「稽古場支援事業」を行い、さらなる活性化を図る。



Ⅲ. その他の事業

【1】文化財団「友の会」

友の会会員特典を充実させ、特別会員(個人)、賛助会員(法人)の加入増加を目指す。

*一般会員 1,098人(平成27年1月末現在)

1. 友の会会費

一般会員 年会費 2,000円、特別会員・賛助会員 1口10,000円

2. 友の会特典

〈一般会員〉

- ①情報誌(ウイズたからづか)の毎月送付。
- ②文化財団が主催する事業について1人2枚まで優待割引(一般価格の2割引)。
- ③友の会先行予約日の設定。
- ④協力店舗や劇場公演の優待。
- ⑤継続入会者に、文化財団が指定する催しのチケット代、またはホール及び会議室の利用料をお支払いの際に利用できる「友の会会員優待券」を進呈。(500円相当)

〈特別会員・賛助会員〉

- ①情報誌(ウイズたからづか)の毎月送付。(賛助会員は5部)
- ②文化財団が主催する事業について1口につき10枚まで優待割引(一般価格の2割引)。
- ③友の会先行予約日の設定。
- ④協力店舗や劇場公演の優待。
- ⑤文化財団が指定する催しのチケット代、またはホール及び会議室の利用料をお支払いの際に利用できる「友の会会員優待券」を進呈。(1口につき3,000円相当)
- ⑥文化財団が設置する「芸術文化基金」の支援者としてチラシ等に名前を記載。



【2】その他

(1)市民ボランティア団体 Face to Face との連携

平成20年に、コンサート等イベントに関わりたい市民が中心になって立ち上げたボランティア団体「Face to Face(FTF)」。

結成以来、財団主催イベントの受付や場内案内スタッフ、アナウンス等で協力していただき、来場者の目線によるきめ細やかな気配りや対応で来場者からも好評であり、ホールのイメージアップにつながっている。

また、財団職員との連絡会や研修会を定期的実施して、事業への意見や提案を出していただき、意思の疎通を図るとともに、共に接客に対する研鑽を重ねていき、さらに密に連携していく。

(FTFメンバー) 24人(平成27年1月末現在)



(2)託児サービスの実施

子育て世代の来場を促進するため、平成24年度より実施。未就学児の入場ができない催しにおいてチラシなどに記載し利用者を募る。

(託児利用料)1人あたり1,000円 (利用見込人数)1公演あたり2人、10公演



(3) 財団イメージキャラクター「たからん」の活用

平成24年度に誕生した財団イメージキャラクター「たからん」をチラシやホームページに記載してPRに活用。着ぐるみもイベント会場に数多く登場させて財団のPRを行う。

また、財団主催以外のイベントについてもキャラクターイラストや着ぐるみを使用可能にし、より財団の知名度アップを図っていく。



(4) 後援名義の使用許可

地域芸術文化活動の活発な展開を促す一助として、地域の芸術文化団体等からの申請に基づき、その主催する催しに宝塚市文化財団の後援名義使用を承諾し、PR協力等を行う。

(5) 文化事業への寄附募集

地域の文化の発展・向上を願う個人や企業からの、使途・目的を明確化した寄附金を募り、文化事業のために使用する。企業からの実績としては平成26年度に三井不動産リアルティ株式会社、株式会社池田泉州銀行、大和証券株式会社から寄附をいただいた。

公益財団法人としてふさわしい公益目的事業の充実のため、今後も財団の事業趣旨に広く理解を求めていく。